

No.1 「ありがとう」

みなさん、おはようございます。校長先生の声は、みなさんの心に届いていますか？

さて、きょうは簡単なクイズからお話を始めようと思います。消しゴムを忘れた日、隣の席の子が、消しゴムをそっと貸してくれました。それを友だちに返すときに何という言葉と言いますか？

簡単ですね。「ありがとう」と言って返します。友達にものを貸してもらったとき、何か助けてもらったときだけではありません。私たちは1日に何度もそういう場面に出会って、実際にありがとうと言っていると思います。せっかく他人にいろいろ優しく、親切にされているのに、ありがとうが言えない子はいないと思います。

では、この「ありがとう」という言葉は、どんな意味があるのでしょうか？ヒントです。実は昔の人は、「ありがとう」とは言わずに他の言葉を使っていました。何という言葉でしょうか？少し周りの人と相談してみてください。

答え。昔の人は、ありがとうのかわりに、「ありがたき幸せ」と言っていました。意味は、「こんなに珍しい事は、滅多にありません。」「めずらしいことです。」という意味です。

現代でも、めずらしいものに出会ってうれしいときに、みなさん英語を使って言い表していますよね。何って言ってますか？

そう、「レアや！」とか「激レア！」とか言い、うれしさを表現していると思います。

人は昔から、めったにないものを見たり、聞いたときにうれしくなって、「あり難き幸せ！」と言っていたのです。それがいつしか、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝える言葉になったのです。

さてありがとうという意味の言葉は世界の中で言われています。英語では、サンキュー、ドイツ語ではダンケシェーン、では今から言う言葉はこの国のありがとうでしょうか？「バヤルララー」

そうこれはモンゴルと言う国の言葉です。中国とロシアに挟まれた、大きな草原のある国です。面積は日本の4倍もありますが、人口はわずかに300万人。日本の40分の1です。

そこで、昔モンゴルに行った時、道案内してくれた親切な人に、道端で買った豚まんみたいなやつを少しおまけしてくれた時などにももちろん「バヤルララー」と言っていました。

しかし、なぜかそれを言うと相手のモンゴル人はみんな不思議そうな、人によっては明らかに嫌な顔をするのです。日本なら、ありがとうと言われて嫌な気持ちになる人はいないかと思います。いや日本だけでなく、世界中でも同じです。サンキューと言われて、困った顔をするアメリカ人はいません。日本から持って行ったお土産を渡した時も、折り紙で鶴を折って渡した時も、アメリカの人は「オー、ビューティフル！サンキューベリーマッチ！」と大げさなぐらいに喜びます。これが普通でしょう。

ところがモンゴルでは「ありがとう」と言うたびにムッとされました。それどころか、よく見ますと、モンゴルの人には親切にされたとき、うれしそうな顔はするのですが、「バヤルララー(ありがとう)」と言わないことに気づきました。なぜモンゴルの人にはありがとうと言わないのでしょうか？周りの人と少し相談してみてください。

では、答えはこうかなと思った人、あるいはこんなかなと考えた人。ぜひ校長室の前にボードを貼っておきますので、あなたの考えをつぶやいてみてください。間違っても構いませんよ。考えることが大切なのです。

これで校長先生のお話を終わります。最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。

